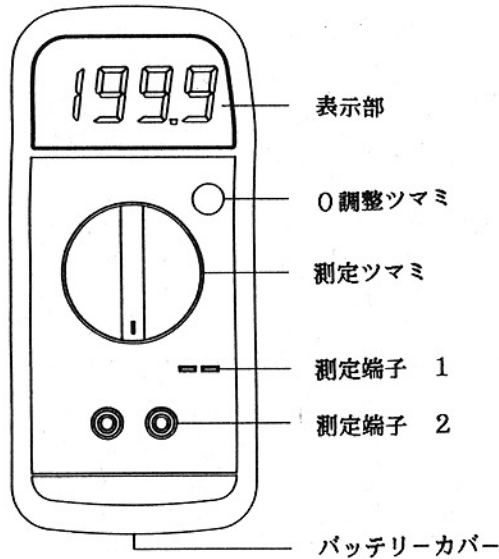


取扱説明書

1. 各部の名称



2. 測定方法

- (1) 接続するコンデンサーの極を確認します。
- (2) コンデンサーを十分に放電させます。
- (3) 予想される最大の容量に測定ツマミを合わせます。この時に電源が入ります。
- (4) ゼロ表示を確認してください。
もし測定レンジが200pF, 2nF, 20nFの場合、測定リード線を差し込んだ後(コンデンサーに接続する前)、ゼロ表示になる様にパネル面の0調整ツマミを回して下さい。このゼロ調整の範囲は±20pFです。
- (5) ワニグチクリップをコンデンサーリードに接続します。
- (6) 表示値を読み取ります。出た表示値は合わされた単位pF, nF, μFを直接読み取ります。もし表示値が`1`と表示された場合は合わせが不適当であることを意味します。測定分解能を更に高精度で測定するには1つ下の単位で測定して下さい。

3. ご使用上の注意

- (1) バッテリーは極性を合わせてバッテリーケースにきちんと取めて下さい。
- (2) 測定端子には電圧を加えないで下さい。
- (3) 測定リード線は短絡させないで下さい。(短絡させるとバッテリーを消費させます。この場合オーバーレンジ表示が出ます。)
- (4) もし数値が表示されない場合は200pFから始めて下さい。そしてオーバーレンジ指示が消える迄測定ツマミを上げて行くと読み取れます。
- (5) ショートしているコンデンサーはどのレンジでも0表示となります。オープンコンデンサーはどのレンジでも0表示となります。(200pFレンジで数pF)。
- (6) 非常に低い容量の測定は浮遊容量の影響を受けるので短いリード線を使用して下さい。
- (7) 別な測定リード線を使用する時、測定リード線自身、測定可能な容量を持っています。最初に既算値として測定リード線の容量は、その先端をオープンにする事によって測定可能です。この場合オープン回路の値を表示します。そして表示された数値から減算(マイナスだったら加算)します。
- (8) コンデンサー(特に電解コンデンサー)は容量の小さいものでも測定値が表示値よりもかなり大きい値で表示する場合がありますが、問題はありません。但し定格より大幅に下回る表示値が出る事はめったにありません。
- (9) 漏れ容量はレンジをかえて表示値が変わる時発見できることがあります。

4. バッテリー交換

- (1) LCD表示 \blacktriangle と出たらバッテリー交換が必要になります。
- (2) バッテリーカバーのネジをゆるめてカバーをはずして交換して下さい。

5. ヒューズ交換

- (1) 測定端子に接続されたコンデンサーを保護する為に0.2Aの予備のヒューズが入っています。
- (2) バッテリーカバーのネジをゆるめてカバーをはずして下さい。
- (3) 中の予備と交換して下さい。